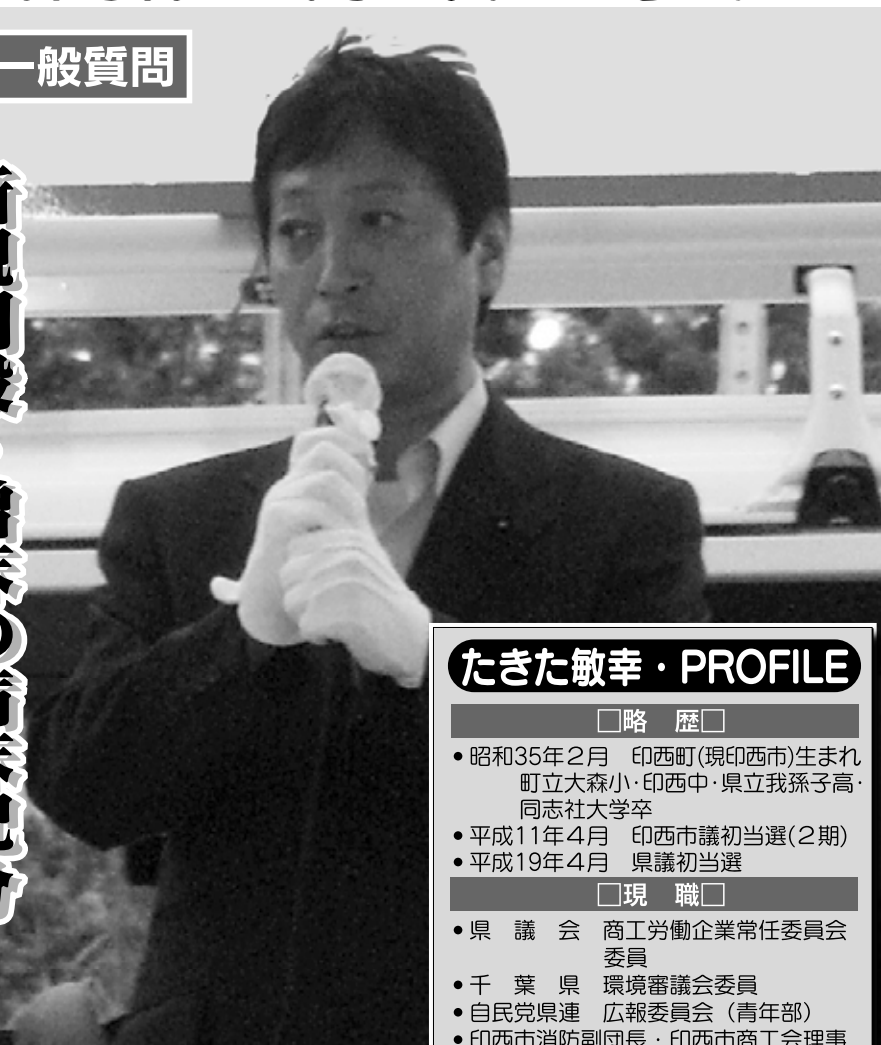


印西市への病院誘致を要望

■印西市特集■ 6月県議会一般質問

新規開設・増床の病床配分 基準は県医療審議会に諮問



千葉ニュータウン街頭で
政策を訴える瀧田県議

たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 昭和35年2月 印西市(現印西市)生まれ
町立大森小・印西中・県立我孫子高・
同志社大学卒
- 平成11年4月 印西市議初当選(2期)
- 平成19年4月 県議初当選

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会
委員
- 千葉県 環境審議会委員
- 自民党県連 広報委員会(青年部)
- 印西市消防副団長・印西市商工会理事
- 千葉県ラグビー協会理事
- 自民党印西支部幹事長

場合、各医療機関の整備計画を聴取したうえ、千葉県医療審議会と議論を踏まえ病床を配分していくこととなります。

成田新高速と北総鉄道 「二重運賃」回避を訴え

瀧田 成田新高速鉄道開業に伴い問題となる可能性の高い、北総鉄道のいわゆる「二重運賃」問題について県民がどのように考えるか。

総企画部長 成田新高速鉄道は現在、印旛日本医大駅から成田空港までの新線区間の建設が進められ、完成後は京成電鉄が運行します。同社では運賃体系は白紙の状態ですが今後の検討課題としています。

伴う北総鉄道の運賃の動向も現段階では不明な状況です。運賃は国の認可事項ですが、県も対応していきたい。

要望 瀧田 千葉県として、印西市の医療の現状を理解いただき、病院誘致問題解決にご協力くださるよう要望します。

瀧田 県民が不公平な二重運賃により不利益を被ることとは許されず、民間の鉄道事業者ではあるが、公正な運賃体系という観点から京成電鉄に対し「二重運賃」とならぬよう申し入れて頂きたい。県の見解を再度伺いたい。

総企画部長 利用者、住民にも理解できるような運賃体系が求められています。京成電鉄にとっても採算性が求められます。二つの課題がありますので、県は沿線の市や村と連携を図りながら、今後十分に話し合いをしていきたい。



6月県議会一般質問。
自席で再質問する瀧田県議

印旛―成田国道464号 平成20年代半ば完成目指す

瀧田 一般国道464号北千葉道路の印旛村から成田市間の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 印旛沼から成田市13・5キロのうち、9・8キロは国、県、アクセス会社が共同して用地買収や工事を進めています。6月15日現在で用地買収53%、ヨシ原造成工事、地盤改良工事、印旛沼にかかる橋梁工事を進めています。残り7・3キロも今年度新規事業化、今後調査・設計を実施し用地買収に着手します。平成20年代半ばの完成に努めます。

要望 瀧田 中心市街地の活性化問題に対し、国とそれぞれの自治体任せにするのではなく、千葉県も明確な理念とビジョンを掲げ、ハード・ソフト両面にわたる「町場再生事業」をパッケージとするなど県としても独自の取り組みをしていただきたい。また、この問題については次回以降の議会で議論したい。

地域貢献ガイド ラインの議論を

瀧田 商店街や中心市街地の活性化が課題となっているが、県はどのような考え方で取り組んでいくのか。知事 立地条件や人口の集中度合など状況が異なることから対策も千差万別です。そのため市町村が中心となって活性化施策を立案し、

知事は「地域商業と大型店舗の共生について、民間の問題で行政が入らない。大型店に対しては地域貢献ガイドラインを策定して協議等を作って対応したい」という趣旨の発言をしたが、資本力のある企業だけが生き残るというのが地域経済中心市街地空洞化の現実である。地域貢献ガイドラインについても今後、議論したい。

職員給与減額措置継続で論戦

改選後の6月県議会で、最大会派の自民党代表質問に岡村泰明政調会長(四街道市選出、4期)が登壇。成田空港問題、高齢者問題、医療、環境、新産業振興、教育など幅広い今日的な問題について質問。県の姿勢をたずねた。

また、平成18年度一般会計決算見込みでは、2月議会時の「収支均衡」から一転、28億円程度の赤字となる見込みとしました。今後「成田は国際・羽田は国内」の基本方針の堅持を強調。増大する首都圏の国際航空需要に対応するため、成田空港平行滑走路の北進整備を着実に進め、羽田と成田の有機連携強化が唯一現実的な対応と述べました。

県政から築く

印西市の元気な明日

たきた敏幸県議